

「登場人物の手記を書こう」～『大造じいさんとがん』～

(8時間扱い) 授業者 真田 武知

1. 国語科の目標・第5学年における目標・本単元の目標・育成を目指す資質・能力を踏まえた単元の評価規準

国語科の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
	国語科の見方・考え方		
	創造的思考とそれを支える論理的思考の側面、感性・情緒の側面、他者とのコミュニケーションの側面から言葉の働きを捉え、理解したり表現したりしながら自分の思いや考えを深めること		
	個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか)	思考力・判断力・表現力等 (知っていること・できることをどう使うか)	学びに向かう力、人間性等など (どのように社会・世界と関わり よりよい人生を送るか)
	日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。	日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。	言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。
第5学年及び第6学年の目標	日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。	言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
本単元の目標	行動描写や情景描写を基に登場人物の相互関係や心情などを読み、登場人物の心情に共感しながら手記にまとめることができる。		
	文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解できるようにする。 【(1) カ】	登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができるようにする。 【C 読むこと (1) イ】	登場人物に共感しながら物語を読み、自分の考えを広げようとする態度を養う。
	評価 1	評価 2	評価 3

《単元について》

本単元は、学習指導要領 国語 第5学年及び第6学年 2内容

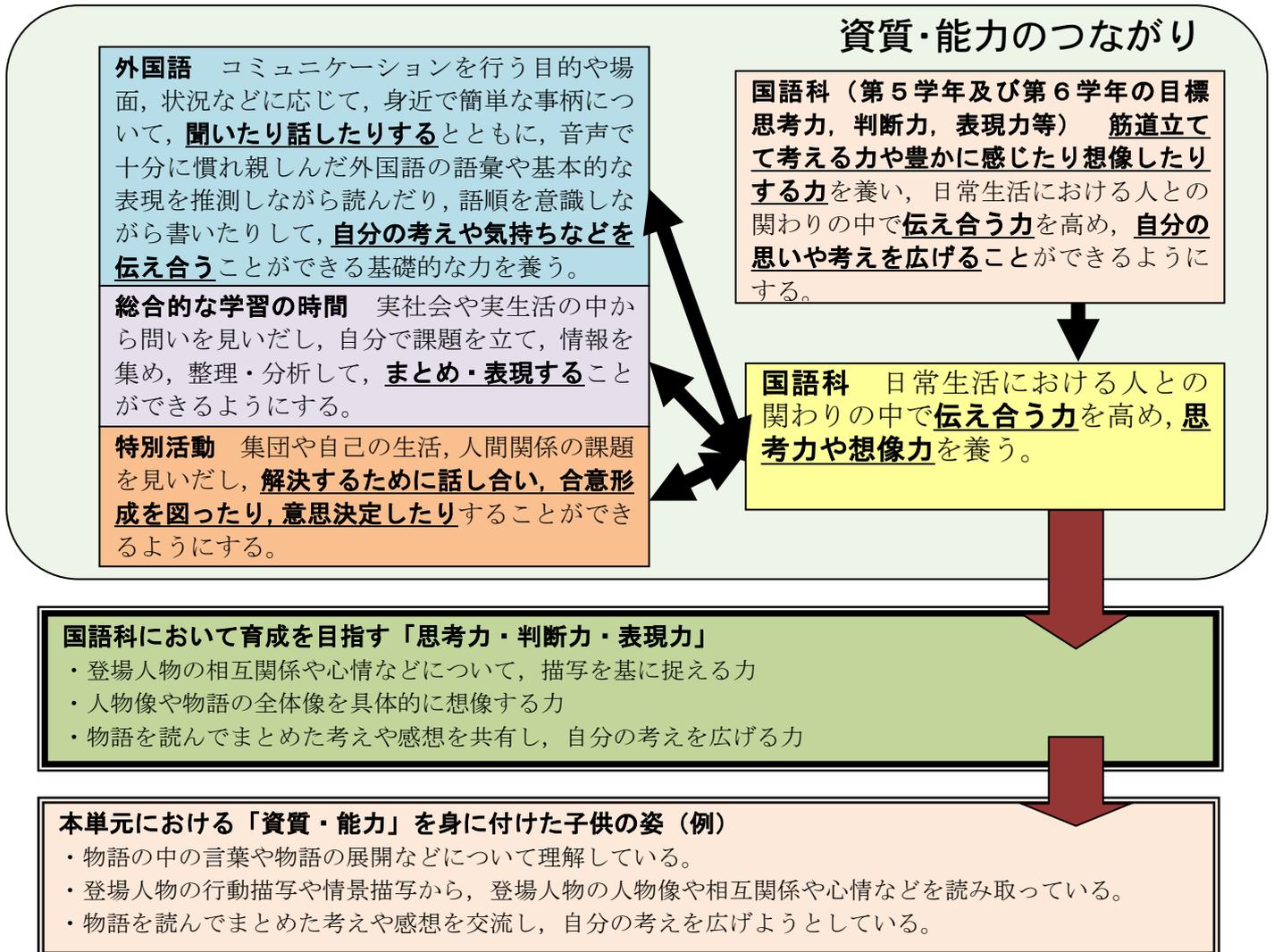
- ・ [知識及び技能] (1) カ「文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。」
- ・ [思考力、判断力、表現力等] C 読むこと (1) イ「登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。」をねらいとする。

物語の中にちりばめられた行動描写や情景描写また、展開に着目しながら登場人物の心情を読み、手記を書くという言語活動に取り組むことで、ねらいを達成することができると思う。

また、読み取ったことや手記の内容を班や学級全体で交流する場面を位置付けることで、児童は他者の考えを受けて、自分の読みを深めることができると思う。

## 2. 研究との関わり

### (1) 資質・能力の育成を支える「学びの文脈」～「思考力・判断力・表現力等」を中心として



### (2) 「主体的・対話的で深い学び」を保障する手立て

#### ○ 手立て1

児童が学習の見通しをもてるようにするために、「登場人物の手記」を書くという言語活動を位置付ける。また、交流場面を位置付ける。

児童は、単元の導入で、本単元では登場人物の心情を読み手記を書く活動に取り組むことを知り、単元全体の見通しをもつ。それにより、児童は主体的に学びを進めることができると思う。

また、読み取ったことや手記の内容を班や学級全体で交流し、他者の考えに触れることで、児童は学習の深まりや有用性を実感することができるだろう。それにより、児童はより主体的に学んでいくことができるようになると思う。

○ 手立て 2

読みを深めるために、班や全体で交流する場面を位置付ける

物語を読んで読み取った登場人物の心情などについて、また書いた手記の内容について、班や学級全体で交流する場面を位置付けることで、児童は他者の読みや表現に触れ、自分の読みとの共通点や相違点に気付く。それにより、改めて自分の読みを客観的に見つめ直し読みを深めることができると考える。

○ 手立て 3

多様な表現に触れるために ICT を活用する

児童が書いた手記を、実物投影機を活用して全体で交流することにより、効率的に多様な表現に触れることが可能になる。多様な表現に触れ、児童は自分の表現の仕方と比較することで、表現の幅を広げることができるようになると考える。

### 3. 単元のグランドデザイン

	第1次	第2次			第3次
	1	2~6			7~8
開始期	<ul style="list-style-type: none"> <li>手記を知る。</li> <li>単元のゴールを知る。</li> <li>本時のめあてを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時の学習を振り返り、学習のつながりを確認する。</li> <li>本時のめあてを知る。</li> <li>学習の見通しをもつ。</li> </ul> <p>学習の見通しをもち、主体的に学習できるようにする。</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>前時の学習を振り返る。</li> <li>本時のめあてを知る。</li> </ul>
展開期	<ul style="list-style-type: none"> <li>全文を読む。</li> <li>感想を交流する。</li> <li>今後の学習をどのように進めていくか、見通しをもつ。</li> </ul>	②登場人物の相互関係と物語のあらすじをつかむ。	③手記の構成を考える。	④～⑥手記を交流し、物語の読みを深める。	⑦自分の選んだ本で手記を書く。 ⑧手記の交流会をする。
		<p>考えた手記の構成を班で交流し、多様な考えに触れる。</p>	<p>手記を班で交流し、他者の読みや表現に触れる。</p> <p>班交流の内容を全体交流でさらに深める。</p>	<p>手記を班で交流し、他者の読みや表現に触れる。</p> <p>班交流の内容を全体交流でさらに深める。</p>	<p>実物投影機を活用して交流する。</p>
まとめ期	<ul style="list-style-type: none"> <li>次時の見通しをもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次時の見通しをもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次時の見通しをもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の学習を受けて、手記を手直しする。</li> <li>次時の見通しをもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑦次時の見通しをもつ。</li> <li>⑧単元全体の学習を振り返る。</li> </ul>

**登場人物の手記を書こう**

**【単元を貫く言語活動を「登場人物の手記を書こう」にした理由】**

本単元の目標は、行動描写や情景描写を基に登場人物の相互関係や心情などを読みとることができるようにすることである。描写を基に登場人物の心情を理解し、表現する方法として多様な方法が考えられるが、本単元では手記を選択した。手記を書くには、登場人物になりきる必要があり、心情理解が不可欠である。登場人物の手記を書くことは、本単元の目標を達成することにつながると思う。

4. 本時案（5時間目／8時間扱い）

本時の目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>大造じいさんの描写から心情の変化を読み取り、手記に表すことができるようにする。</li> </ul>					
学習活動（○）と子どもの姿	教師の支援（☆）と評価（◇）				
<p>○ 前時までの学習を振り返り、大造じいさんが残雪のことをどのように思っているかを確認する。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">残雪のせいで狩りが失敗しているの、憎んでいる。</td> <td style="width: 50%;">いまましい敵だと思っている。</td> </tr> <tr> <td>賢い鳥だと思っている。</td> <td>なんとかして撃ちたいと思っている。</td> </tr> </table> <p>○ 本時の課題を知り、学習の見通しをもつ。</p> <div style="border: 2px solid orange; padding: 5px; margin: 5px 0;">手記の交流を通して、大造じいさんの残雪への心情の変化についての読み取りを深めよう。</div>	残雪のせいで狩りが失敗しているの、憎んでいる。	いまましい敵だと思っている。	賢い鳥だと思っている。	なんとかして撃ちたいと思っている。	<p>☆ <u>児童が学習の連続性を意識できるように、前時までの学習を振り返る。</u> 【手立て1】</p> <p>☆ 児童が見通しをもって取り組めるよう、本時の課題を提示する。</p>
残雪のせいで狩りが失敗しているの、憎んでいる。	いまましい敵だと思っている。				
賢い鳥だと思っている。	なんとかして撃ちたいと思っている。				
<p>○ 前時に書いた手記を班で交流する。</p> <p>○ 大造じいさんの残雪への心情がどのように変化したか、またなぜ変化したのかについて班で考え、ホワイトボードにまとめる。</p> <p>○ 全体で交流する。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">がんの頭領らしい残雪の姿を見て、残雪をただの鳥だと思わなくなった。</td> <td style="width: 50%;">憎らしい敵だと思っていたが、すごい鳥だと思うようになった。</td> </tr> <tr> <td>なんとかして撃ちたいと思っていたが、頭領らしい姿を見て、堂々と戦いたいと思った。</td> <td>残雪の頭領らしい姿を見て、ただの鳥だと思わなくなった。</td> </tr> </table>	がんの頭領らしい残雪の姿を見て、残雪をただの鳥だと思わなくなった。	憎らしい敵だと思っていたが、すごい鳥だと思うようになった。	なんとかして撃ちたいと思っていたが、頭領らしい姿を見て、堂々と戦いたいと思った。	残雪の頭領らしい姿を見て、ただの鳥だと思わなくなった。	<p>☆ 心情の変化と理由を書くことができるように、描写を基に質問して、心情の変化に気付くよう促す。</p> <p>◇ 登場人物の心情などについて、描写を基に捉えることができている。 【評価2】</p> <p>☆ <u>自分たちの読みとの共通点や相違点に気付くように全体で交流し、自分たちの読みを客観視するように促す。</u> 【手立て2】</p>
がんの頭領らしい残雪の姿を見て、残雪をただの鳥だと思わなくなった。	憎らしい敵だと思っていたが、すごい鳥だと思うようになった。				
なんとかして撃ちたいと思っていたが、頭領らしい姿を見て、堂々と戦いたいと思った。	残雪の頭領らしい姿を見て、ただの鳥だと思わなくなった。				
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;">大造じいさんは、はじめ残雪をただの鳥だと思っていたが、残雪の頭領らしい姿を見て、ただの鳥だと思わなくなった。</div>					
<p>○ 本時の読み取りを生かして、手記を修正する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">今日は、がんの頭領らしい残雪の姿を見て、感動した。残雪にひきょうな手で勝ちたくなかった。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">今日こそは残雪をしとめようと思ったが、残雪の頭領らしい姿を見て、今回はやめることにした。また、正々堂々勝負したい。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">今日、憎き残雪を撃とうと思っていた。しかし、残雪に頭領らしい姿を見せられ、撃てなくなってしまった。また、残雪が回復したら勝負しようと思う。</div> <p>○ 次時への見通しをもつ。</p>	<p>☆ つまずいている児童が、手記を修正することができるように、これまでの学習が参考になることを伝えたり、「○○君は、こう書いているよ。」などと伝えたりして、個別支援をする。</p> <p>☆ 時間があれば交流する。</p>				